

# 夏の交通安全 市民総ぐるみ運動

7月16日⇒25日



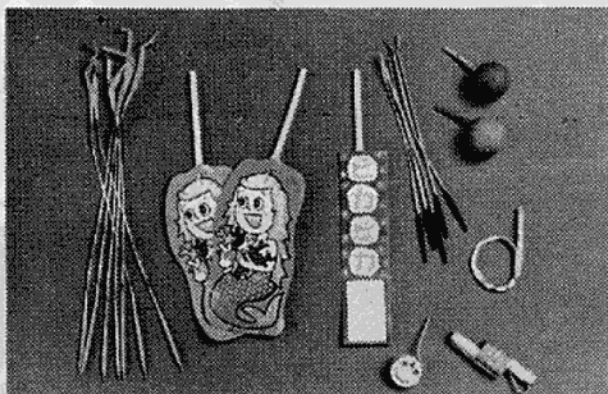
シートベルトは「安全への  
パスポート」

夏の交通安全運動が、七月十六日から二十五日までの十日間、県下いっせいに実施されます。  
この運動は、夏休み中の子供の交通事故防止を中心に、海山への行楽、帰省客などで交通が混雑するのに加えて、暑さ、睡眠不足な

**花火は  
使用上の注意をよく読んで**

花火は、子供の楽しい遊びですが、取り扱いを誤ると、人身事故を引き起こしたり、火災の原因になったりすることがありますから、十分注意しましょう。  
昨年、中国製のおもちやの花火(魔術弾)による人身事故が、全国で数多く発生し、命を

落とした小学生もいました。この魔術弾という花火は、筒状の十五連発打ち上げ花火で、根元には地面に突き立てるためのプラスチック棒がついています。  
安全な取り扱い方として「手に持たず、地面にまっすぐに立



いろいろな花火……使い方をよく読んでから遊びましょう。

てて点火する……とあるにもかかわらず、手に持ったまま火をつけたため、噴射と同時にプ

ラスチック棒が逆噴射して飛び出し、体に刺さったというものです。  
このように、ちょっとした不注意が、楽しい夏の夜のひと時を、一瞬にして台なしにしてしまいます。  
そのほか、手に持って楽しむ花火でも、死者が出ています。電気花火の火花が子供のゆかたに燃え移り……。バケツ一杯の水を用意していたら、大事には至らなかつたらうにと思われま

す。火災予防の点からも、花火を楽しむときは、必ず水の用意をしたいものです。  
火災といえば、花火による火災は年々増え続けており、昭和五十三年の発生件数は八百二十一件を大幅に上回っています。人身事故といい、火災といい、取り扱いを間違えると、楽しい花火も「凶器」に一変することを物語っています。  
お子さんが花火で遊ぶときは、使用上の注意をよく読んで聞かせ、正しい取り扱い方を教えましょう。  
とくに幼児の花火遊びには、安全のために親が必ず立ち会うようにしましょう。

## シートベルト着用 運転マナーの向上 推進運動

この運動は「自分の命と体は、自分で守る」ことの一方策として、シートベルト着用の習慣化を呼びかけるとともに、ことしは「栃の葉国体」が開催されるので、運転

マナーを高めて、全国からのお客様を、暖かく迎えようという運動で、七月一日から九月三十日まで、の三か月間、県下いっせいに実施されます。

どと過労運転……夏は交通事故の起きやすい条件が、そろい過ぎている季節です。  
それだけに、各人が正しい交通ルールを守らなければならず、市民総ぐるみの運動として実践しようというわけです。  
楽しい夏の行楽に出発する前に、

もう一度計画に無理がないかどうか確かめましょう。スピードの出し過ぎ、飲酒運転、過労運転は、悲惨な死亡事故につながる最大要因となることを忘れずに、シートベルトを締めて安全運転を励行することが大切です。

### 交通安全は

#### 「家庭から」運動

家庭には、車を運転する人、歩行する人、また幼児からお年寄りまで、各世代が同居しているので、家庭こそ交通安全教育の最も大切な場であると云えます。  
みんなで、身近かな問題を取り上げての話しあい、家族を事故から守ります。

- この運動のスローガン
- ◎ベルトを締めてゆずり合い運転
- ◎守ろうルール、高めようマナー
- ◎県下いっせい街頭指導日  
七月五日(土) 八月二日(土)  
九月六日(土)